



兵庫支部 NEWS H19 11月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)
 ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回1,500円(送料込)
 購読のお申し込みは郵便振替
 振替口座00980-2-245822
 口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

河野旺生氏同窓会活動功労賞受賞 第57回同窓会総会・懇親会開催

10月28日(日)北九州市九州厚生年金会館にて第57回北九州市立大学同窓会総会・懇親会が開催され、総会の席上では、兵庫支部幹事・会計監査そしてホームページ管理者として兵庫支部活動に貢献された河野旺生氏が、同窓会活動功労者として山下会長から表彰された。



(山下会長から表彰状を受領する河野氏)

今年の総会・懇親会の実行委員は7期が担当して企画され、昭和37年卒が最長老の委員ということで、この機会に37年卒の会を開くと案内があった。支部長を退任して小倉に向く機会が無くなった筆者も37年卒であり、この機会に是非と思ひ立ち、六甲アイランドから阪九フェリーに乗船し早朝に新門司港に到着。無料の送迎バスにて小倉駅へ。



総会開始時間まで時間がたっぷりあり街中の様子を確認しようと旧電道から城野の通りを母校まで1時間20分掛けてウォーキング。同窓会館に兵庫支部NEWSが掲示してあるのを確認(左)

兵庫支部忘年会開催お知らせ

平成19年12月8日(土)午後1時から

於カラオケスタジオ「ひばり」

神戸市兵庫区新開地5-2-3 ルミエール神戸2F

電話:078-578-6137

会費:男性8,000円、女性6,000円

申込先:兵庫支部事務局長 二宮慶治郎

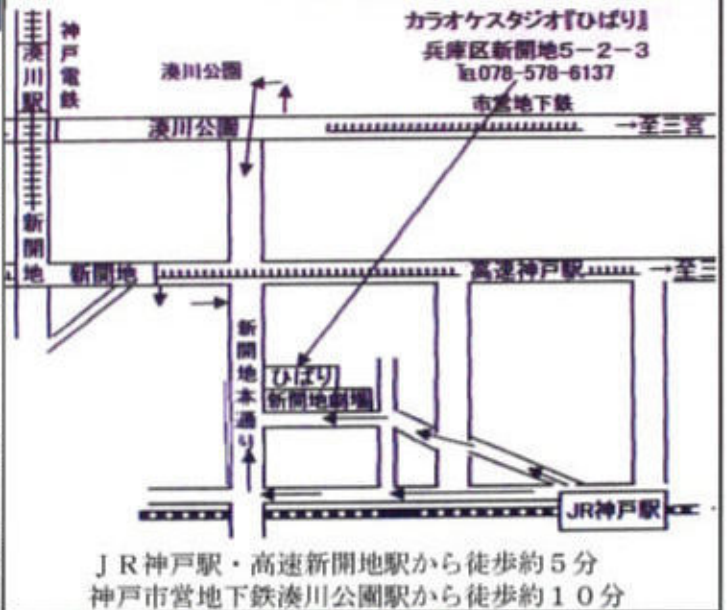
電話兼FAX:078-851-1875

メール: ninom406@skyblue.ocn.ne.jp

締切り:12月3日(月)までに連絡

一昨年に続き、今年もまた、ひばりそっくりさんがオーナーのカラオケスタジオ「ひばり」で、忘年会を開催します。

案内状は本紙以外電子メール、ホームページ及び一部ファックスでされますので参加される方は、お手数ですが上記の申込先へご連絡下さい。



損害保険・医療保険・がん保険
 の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良
 (昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

「三金会」会場が変わりました。

中国 雲南茶苑

Tel.078-271-1168

神戸市中央区中山手通
 1丁目24-4
 ドラゴンズビルB1F

「三金会」

午後6時~8時

会費:3,500円

中国雲南省の家庭料理
 をご賞味下さい。

「囲碁の会」

午後3時~6時



会長選考委員に関西支部長、兵庫は予備委員に 平成19年度第2回全国支部長会

兵庫支部長 銭谷勘一郎



去る10月27日(土)、九州厚生年金会館において、今年度の第2回全国支部長会議が開催された。この会議の前に、評議会が開かれた。

校歌斉唱に続き、山下会長の挨拶、各支部長の日々の活動に対する御礼の言葉、大学のダイ

ナミックな改革改善の動きに対応し、同窓会の長期構想の策定について評議会に諮り承認を得たこと、しかしながら、大学の現場では、いろいろな面で高い評価を受けているものの、伝統ある応援団が消えてしまったと言うような淋しい現実もある、等々のなかで、これからもより良い同窓会を目指して、各支部と連携して、長期構想の実現に向け前進すると力強く述べられた。

評議会のことは平間評議員に報告して頂きますが、評議会の結果報告があり、今後は47支部長が評議員を兼務することとなった。(但し、千名以上の会員を擁する5支部からは、もう1名の評議員が選ばれる)その為の会則改定部分についても承認された。又、明日の総会で諮られる事業報告等が承認された事が報告された。

この後、質疑応答に続き、任期満了に伴う「会長選考委員会」の議題に移り、規定に沿い各ブロックに分かれ、委員と予備委員が選出された。因みに近畿地区は委員が関西支部の御堂支部長、予備委員は兵庫支部長と決まった。

委員総数は、地区委員12名と本部役員から2名の14名である。来年3月に会長候補者選出、4月に選考委員会による会長内定、5月の評議会で正式決定となる。

以上で会議は終了した。

北九大副学長が文化功労者に

支部長会議や総会の席上で、北九州市立大学副学長の国武豊喜氏(71)一国際環境学部一が文化功労者に選ばれたことが報告された。生体脂質に関連しない人工物質から、安定した二分子膜が形成されることを世界で最初に示した。

懇親会の席上で矢田学長は、毎年ノーベル賞候補にも上げられているほどの逸材と紹介がされた。

総会・懇親会レポート(つづき)

総会は定刻11時に始まり、功労者表彰では表彰される支部役員12名を代表して、河野旺生氏が山下会長から表彰状を受領。片山圭一副幹事長(前熊本支部長)の司会進行で滞りなく議事が進められた。

懇親会は12時半から開催され、アトラクションにいまや北九大の人気者であるチアガールズ“ウォーリアーズ”の演技・ジャズバンド“K&K”の演奏などがあり、恒例の福引ではその他大勢組(事前に抽選し当選番号を貼り出し)で真空断熱タンブラーを頂いた。

懇親会終了後、37会茶話会が開催され34名が出席した。関西からは4名、関東からは3名、中京からは2名の出席が有り、自己紹介・近況報告などで賑やかに和気藹々とした雰囲気の中、午後4時過ぎに散会となった。

支部長が評議員を兼任することに

平成19年度第2回評議会

兵庫支部評議員 平間正昭



平成19年10月27日(土)14:00~16:30に平成19年度第2回評議会が北九州市小倉の九州厚生年金会館にて行われ、兵庫支部の評議員として出席しました。

まず最初に同窓会会長山下建治氏が挨拶し、「北九州市立大学は独立行政法人化して今年3年目になり、今後同窓会がどうあるべきか、今年1月に長期構想検討委員会をつくり、各支部の意見を取りまとめ、支部長の役割を明確化したり、様々な議論を重ねてきた結果、答申が出されたので、評議会で審議していただきたい。全国に47支部があるが、各支部がそれぞれ抱えている悩みや意見を出して、今後同窓会が良い方向へ進むようご協力いただきたい」と。

続いて議長に関東支部の児森進作氏、副議長に岡山の荒木敏和氏が選出され、下記事項について活発に議論され、議案どおりに賛成多数で承認された。

議題：報告事項

1. 平成19年度上半期事業(会務)報告
2. 平成19年度上半期予算執行状況について
3. 第57回総会・懇親会について

議決事項

4. 同窓会長期構想の策定について
5. 同窓会会則及び同窓会支部設置規定の一部改正について

この中で特記すべき事項は、各支部の評議員は、支部長が兼務する。ただし、1000名以上の会員がいる支部は支部長のほかに1名の評議員を選出する。ということが決議されたことである。

兵庫支部月例会10月三金会

新しい三金会会場「雲南茶苑」の雲南料理について兵庫支部NEWSをご覧になった関西支部囲碁同好会の茨木幹夫(34米英)夫人が興味を持たれて三金会にご夫妻でご出席され、10月19日三金会が開催された。



(左から)二宮、安徳、茨木夫人、謝、季、平間、植松、名越、大村、茨木

銭谷支部長から、11月18日開催の関西支部総会には兵庫支部役員会への為、支部長代理として藤澤一範氏(38中国)が出席予定であると報告あり。また12月8日開催予定の忘年会について詳細を確認。

久々に出席の植松氏はこの雲南茶苑を紹介した当人でもあり、李紫君ママの演奏するピアノにあわせて、中国語での歌を披露したり、謝美華さんとデュエットを楽しんだり、さすが中国貿易専門商社員と思わせる実力を見せてくれた。

インド便り — 祭りのシーズン —

高森千賀子(44米英)

10月、11月は祭りが多く、今年のディワリは、11月9日だ。ディワリは日本のお正月のようなもので、富と幸運の女神ラクシュミーの祭りだ。家々の出入口や窓に灯明を灯し、女神を招き入れる。また光の祭りでもあり、花火をバンバン打ち上げる。最近では、クリスマスのイルミネーションのように、ライトアップする家が増えてきた。祭りに備えて、家の大掃除をして、壁を塗り替える。チョークの粉のようなものを溶いて塗るのだが、1年以内には剥がれたり汚れたりするので、毎年この時期には塗り替えることになる。

カジュラーホーは世界遺産に登録されているヒンドゥー寺院群で有名だ。すぐその隣に、地元の人々が今でも参拝する寺院があり、このお寺がイルミネーションで飾られるようになった。10世紀に建立された石造りの質素なものだが、こうして煌びやかに飾られると、なんだか違和感がある。

ディワリを迎えるために、各家庭では新しい衣類を買うことになっているので、兵庫支部の方々や私の友人などからいただいた子供服を、先日あちこちで支給させていただいた。最初の地域では配り始めると、幼児を連れた人たちがわんさと押しかけ、黒山の人だかりとなり、「くれ、くれ」と私の腕を引っ張る。すぐに用意した服がなくなった。

裸で過ごす子供が多いため支給したのだが、家に帰ってそれを脱いで、またすぐに裸になり、何度も貰いにくる子供(というよりも親がしむける)が何人もいた。彼らその後ちゃんとその服を着ているかどうかは疑わしい。相変わらず裸で過ごし、外出用にとしまっておいたり、また最悪の場合は、その服を売却してしまうのだ。こうなると私はとても悲しいし、不愉快になる。せつかく皆様方からいただいた好意が無くなり、申し訳なくなってしまう。

また別の地域では、親が喜んで「これでディワリ用の服を買わなくてすむ」と微笑んだ。インド人は感謝の言葉を言わないので、この表現が感謝を表しているのだろうと解釈して、私は嬉しくなる。

学校でも鉛筆や消しゴムを、他校に通学している兄や妹に自分のものをあげて、なくなったと私に訴えて再びもらおうとする生徒がいる。それで小さくなった鉛筆や消しゴムと交換に新しいのを支給していて、ノートにも書き留めている。

このようにきりがなくて、何かを支給する際には、いつも、もう支給するのをやめるべきか、いや続けるべきかとジレンマに陥っている。

面白い看板を見つけました



ウォーキングの途中の喫茶店に立て掛けてありました。

次の日にも、又その次の日にも。

体調が回復して、またオープンされたら入ってみようと思っています。

思案亭

なお、これを今朝(11/02)朝日新聞の「笑ウインドウ」欄にも投稿しました。

前に一度採用されたこと有って二匹目の泥鰌を狙ってみました

歩きました17km

第17回明石海峡ウォークラリー

毎年11月3日文化の日に開催される明石海峡ウォークラリーに、我が「歩こう会」のメンバーが参加し始めて4回目となる。雲ひとつ無い爽やかな秋空の下「歩こう会」会員5名とゲスト会員8名が午前8時にJR朝霧駅に集合しゴールまでの17kmを完歩した。



(二宮、河野、名越、山浦、立川、美咲ちゃん、平間、山浦夫人、角田、森岡)

スタート地点の大蔵海岸で参加証と引き換えに記念品とゼッケンを受け取り、第1チェックポイントの船上東公園まではほとんど明石市街地を歩くが、その後は海岸沿いの道をひたすらゴールを目指して西進する。風も無く比較的涼しく、穏やかな天候に恵まれて、「アカシゾウ発見地」や「明石原人腰骨発見地」などを通過して、第3チェックポイントの江井ヶ島海岸に(スタートから約10km位)到着する頃はかなりへばってきたが、そこから4~500m先には美味しい地ビールを飲ませてくれる「明石江井ヶ島酒館」がありそれを楽しみにもうひとふんばり。

「江井ヶ島酒館」の地ビールで一息ついた後、第4チェックポイントである住吉公園で昼食を取る。ここからは4km少々を残すのみ。

食事とビールとしばしの休憩で元気を取り戻して、午後1時過ぎに再スタート。

ゴールの南二見の埋立地にあるノーリツ明石本社工場前の広場に到着したのは午後2時10分だった。

抽選で3等賞を引き当てたが奇しくも本部同

窓会の時と同じ真空断熱タンブラーだった。

完歩賞のバッジを受け取り、飲み物を貰って、キャラクターショーなどで賑わう会場で疲労回復した後、無料バスで山陽西二見駅に向かい、それぞれが電車で帰路についた。

明石で緊急ミーティング

ウォークラリー終了後、明石に役員有志が集まり、銭谷支部長の辞意を受けて、緊急ミーティングを行い対策を協議し、11月18日(日)垂水勤労市民センターで開催予定の役員会に諮ることとした。

歩こう会10月例会

一庫ダムから妙見山へ

前回に続いて今回も能勢電鉄沿線でのハイキングとなった。山下駅から一庫ダムを経由して、黒川ダリヤ園から妙見山ケーブル駅までの約8 kmである。

参加者は、歩こう会メンバーから二宮会長、安徳、名越、前原夫妻、ゲスト会員から岡本氏、野村氏及び友人、謝さん、山浦夫妻、そして二宮会長勤務先同僚6名の合計17名となった。

山下駅10時集合。近所に住む二宮会長同僚の立川さんに案内されて彼女のお家の前を通って車道に出る。一週間前の下見の時は大渋滞していた道が今日はがらがらだ。トンネルを抜け一庫大橋に出る目の前に一庫ダムの堰堤が見える。さらに20分ばかり歩いてダム管理事務所前の広場に到着した。ダムの堰堤を背景に記念撮影。



管理事務所でダム見学記念のカードをゲットして、知明湖(ちみょうこ)沿いに北上し、一庫公園を目指す。一庫公園で暫く休憩して、360段の階段を上って小高い丘の上の広場へと向う。本日唯一の息切れを味わった場所である。

丘の上は芝生の綺麗な広場となっており、子供の遊び場や自然と触れ合う施設がある。

そこから車道を一気に下り再び知明湖畔に出て、湖畔沿いの道を北上し、知明湖キャンプ場までおおよそ1時間かかった。キャンプ場はよく整備されており、あちこちに水道を引き込んだ水洗い場があり、パーベキューなどが楽しめる。但し、入場料が必要だ。向かい側は、黒川ダリヤ園で、こちらは無料である。ダリヤの花が丁度見頃で妙見口駅から無料のシャトルバスが出ていた。案内書によると約150種の花があ

るとのこと。園内の休息所を利用していただき、昼食をとる事にする。

約1時間程ダリヤ園で過ごし、妙見山ケーブル駅迄2キロ少々バス道を歩く。この辺りは日本一の里山地域との事。里山とは薪、炭などを生産する為定期的に伐採を繰り返し利用される二次林(人工林の山)のことで、池田炭、一庫炭など国内でも最高級の炭の生産によって里山が維持されているのだと言う。

妙見山に上るケーブルの黒川駅に到着し、ケーブルとリフトで山上まで。リフトはコスモスの花畑の上を通過して行くのだが3年前の10月例会で訪れた時より開花が少し遅れているようだ。

山上に上がり、日蓮宗霊場能勢妙見山境内まで向うと境内入口には鳥居が立っている。お寺なのになぜ?と驚いたくなるが、これもかつての神仏習合の名残だと、ホームページで確認。妙見大菩薩を神道式に崇めようと建てられたものだという。さらに境内を進むと、大きなガラス張りの建物に出会う。「星嶺(せいれい)」と呼ばれているが、能勢妙見山信徒会館が正式名称らしい。中では休息の場所があり、また法話を聞いたりも出来る場所となっている。

妙見山に上ればやはりこの場所が記念撮影のポイントとなる。記念撮影後、三々五々それぞれが思い思いに境内を散策。先ずは本殿にお参りして元の鳥居のある広場までぐるりと境内を一周して戻ってきた。

全員が揃ったところで下山開始、と言ってもすでに3時半近くになっており、前回は麓の黒川ケーブル駅



まで歩いて下りたが、今回はリフト、ケーブルを利用して下山。黒川ケーブル駅から妙見口駅まで、歩けば20分程度だが、バスの時間が丁度良く全員がバスを利用する事になり、妙見口駅に到着したのは午後4時前だった。お疲れ様でした。

約1時間程ダリヤ園で過ごし、妙見山ケーブル駅迄2キロ少々バス道を歩く。この辺りは日本一の里山地域との事。里山とは薪、炭などを生産する為定期的に伐採を繰り返し利用される二次林(人工林の山)のことで、池田炭、一庫炭など国内でも最高級の炭の生産によって里山が維持されているのだと言う。

妙見山に上るケーブルの黒川駅に到着し、ケーブルとリフトで山上まで。リフトはコスモスの花畑の上を通過して行くのだが3年前の10月例会で訪れた時より開花が少し遅れているようだ。

山上に上がり、日蓮宗霊場能勢妙見山境内まで向うと境内入口には鳥居が立っている。お寺なのになぜ?と驚いたくなるが、これもかつての神仏習合の名残だと、ホームページで確認。妙見大菩薩を神道式に崇めようと建てられたものだという。さらに境内を進むと、大きなガラス張りの建物に出会う。「星嶺(せいれい)」と呼ばれているが、能勢妙見山信徒会館が正式名称らしい。中では休息の場所があり、また法話を聞いたりも出来る場所となっている。

妙見山に上ればやはりこの場所が記念撮影のポイントとなる。記念撮影後、三々五々それぞれが思い思いに境内を散策。先ずは本殿にお参りして元の鳥居のある広場までぐるりと境内を一周して戻ってきた。

全員が揃ったところで下山開始、と言ってもすでに3時半近くになっており、前回は麓の黒川ケーブル駅

まで歩いて下りたが、今回はリフト、ケーブルを利用して下山。黒川ケーブル駅から妙見口駅まで、歩けば20分程度だが、バスの時間が丁度良く全員がバスを利用する事になり、妙見口駅に到着したのは午後4時前だった。お疲れ様でした。

まで歩いて下りたが、今回はリフト、ケーブルを利用して下山。黒川ケーブル駅から妙見口駅まで、歩けば20分程度だが、バスの時間が丁度良く全員がバスを利用する事になり、妙見口駅に到着したのは午後4時前だった。お疲れ様でした。

まで歩いて下りたが、今回はリフト、ケーブルを利用して下山。黒川ケーブル駅から妙見口駅まで、歩けば20分程度だが、バスの時間が丁度良く全員がバスを利用する事になり、妙見口駅に到着したのは午後4時前だった。お疲れ様でした。

